

ニュースクリップ & 映像教材

- 2006年教育映像祭「優秀映像教材選奨」に126作品が参加
- 平成18年度情報教育対応教員研修全国セミナー
- 第37回教育工学研究セミナー・全国大会
- 第4回21世紀の教育を考える会
- 「第2回マルチメディア学習教材活用国際コンテスト（日本国内の部）」参加作品募集

協会情報

■2006年教育映像祭「優秀映像教材選奨」に126作品が参加

(財)日本視聴覚教育協会では、毎年、教育映画、ビデオ、スライド、DVD、コンピュータソフトウェア(CD-ROM)の映像教材の製作振興と利用の向上進展を図る目的で、標記選奨を開催している。今年度の部門別参加作品数は次の通り。()内は前年。

〈映画の部〉	5社・11作品
学校教育部門	4作品 (3)
小学校向け	4作品
社会教育部門	1作品 (3)
児童劇・動画部門	2作品 (5)
教養部門	4作品 (1)
〈ビデオの部〉(DVD・スライドを含む)	29社・104作品
学校教育部門	42作品 (58)
小学校向け	16作品
中学校向け	19作品

高等学校向け	7作品
社会教育部門	31作品 (32)
家庭生活	11作品
市民生活	20作品
職能教育部門	19作品 (32)
動画部門	1作品 (0)
教養部門	11作品 (13)
〈コンピュータソフトウェアの部〉	5社・11作品
学校教育部門	10作品 (18)
小学校向け	3作品
中学校・高等学校向け	7作品
一般教養部門	1作品 (2)

研究会情報

■平成18年度情報教育対応教員研修全国セミナー

(社)日本教育工学振興会では、標記セミナーを開催する。

〈日時・場所〉

平成18年7月27日(金) 10:00~16:00、28日(土) 14:00~16:30 両日ともに東京

ビッグサイト西ホール会議室
(東京都江東区有明3-21-1)

〈内容〉

学校でのネットワーク実践事例発表会。情報の現状と課題、ポリシーの策定および運用に向けた手順等について解説。

〈参加対象〉

教育委員会、教職員、自治体の情報政策関係部門担当者等。

〈定員・参加申し込み〉

60名。http://www.japet.or.jp/より申し込む。参加費無料。

〈問い合わせ先〉

(社)日本教育工学振興会

TEL 03-5251-0751

■第37回教育工学研究セミナー・全国大会

東京教育工学研究会では、「子どもの人間力を豊かに育てる授業をどう構想するか」をテーマに研修会を行う。

〈日時・場所〉

平成18年8月5日(土) 10:

トピックス

夏休み子ども映画フェアは
8月24日に開催

(財)日本視聴覚教育協会開催の教育映像祭の一環として、毎年夏休みに東京都小学校視聴覚教育研究会が主催している「夏休み子ども映画フェア」は、今年は8月24日(木)10時～12時に東京都児童会館(東京都渋谷区渋谷1-18-24)において開催されることが決定した。今年の上映作品は「みみずくとお月さま」(11分・学習研究社)、「こぎつねコンとこだぬきボン」(21分・東映)、「未来は僕らの手に」(28分・桜映画社)、「ど

んぐりと山猫」(20分・学習研究社)、「やくそく」(20分・東映)の5作品。申し込み・問い合わせ

せは東京都板橋区立第四小学校・古川先生まで(板橋区板橋4-9-13、電話03-3961-0422)。

00～16:30 神楽坂エミール
(東京都新宿区赤城町1-3)

〈内容〉
「単元指導計画」「本時の授業展開」のどこをどう見直すかについて、実践事例の発表と討議。

〈定員・参加費〉
35名。一般5000円、学生3000円。
〈問い合わせ先〉

東京教育工学研究会事務局
東京農工大学工学部教職課程平山研究室内

TEL 042-388-7486

■第4回21世紀の教育を考える会

21世紀教育研究会(岐阜県教育委員会と岐阜女子大学の連携による)では、教育現場での現状と課題について考える標記研究会を開催する。

〈日程・場所〉

平成18年8月7日(月)

岐阜女子大学(岐阜県岐阜市太郎丸80)

〈内容〉

特別講演 菱村幸彦氏(元文部省初等中等教育局長 国立教育研究所長)、他5分科会を予定。詳細については、岐阜女子大学文化情報研究センター(TEL058-267-5237)へ。

コンクール情報

■「第2回マルチメディア学習教材活用国際コンテスト(日本国内の部)」参加作品募集

東京学芸大学ならびに(独)メディア教育開発センターでは、東アジア地域を中心とした小・中・高等学校、高専、大学の教育現場におけるマルチメディアを利用した学習教材の開発・利用を支援し、その国際的発展の促進を目的に標記コンテストを実施する。

〈募集対象〉

「教室」を中心とした「教育現場」での利用を目的としたもので、

授業をより魅力的にするための教材を対象。

ただし、自学自習用の教材は対象とせず。部門は小学校の部、中・高等学校の部、高専・大学の部の3つ。

〈応募資格〉

東アジア地域の小・中・高等学校、高専、大学等教育機関の教師、及び将来教師をめざす学生。個人、団体を問わない。

〈応募媒体〉

フロッピーディスク／CD-ROM／DVD／ビデオテープ等

〈表彰〉

部門ごとに最優秀賞・優秀賞・佳作を選定。

〈応募締め切り〉

平成18年8月31日(木)

〈問い合わせ先〉

東京学芸大学全国マルチメディア学習教材活用国際コンテスト(日本国内の部)実行委員会
TEL&FAX 042-329-7255